



春の訪れ

あっという間に2月も中旬となり、窓越しの日ざしに少しずつ暖かさを感じるようになってきました。しかし本当の春はまだちょっぴり先になりそうです。八郷小でも風邪が流行りだし、欠席する児童が多くなってきています。何ととっても元気な子どもが一番。一日も早く元気な子どもたちが全員そろうことを願っています。さて、本年度も残すところの日数が数えられるようになってきました。子どもたちが自分の力を100%出し切れるように励ましていきたいと思えます。6年生は卒業式まであと25日を切りました。中学校入学へ向けての心構えやまとめの活動を通していっぱい力をたくわえ、今できることをしっかりやり遂げてほしいと思えます。

各学年でさまざまな学びや体験をしました

○戦争体験の話を聞く会【6年生】

6年生は、戦争体験の話を聞きました。お話をするために22名の福寿会の方が寒い中、学校に来てくださいました。小グループに分かれて、聞き取りをしました。食べるものがなくてさつまいもを食べていたり、修身という授業があったり、防空壕に隠れて怖い思いをしたり、そんな具体的な体験の話を子どもたちは真剣に聞き、メモをとっていました。戦争の悲惨さを思い、二度とおきてほしくない、いやおこさない気持ちを持ったことでしょう。



○公害学習【5年生】

5年生は公害市民塾の方に来ていただき、四日市公害の学習会を行いました。来てくださった語り部の野田さんは50年前にぜんそくになり、今でも胸が息苦しくなる時があるそうです。四日市公害は4年10ヶ月かかって住民勝訴の判決が出ました。そしてその裁判をきっかけにきびしい法律が作られ環境の改善が進んだそうです。子どもたちは「ぜんそくの苦しみ」「煙」「裁判」などいろいろな質問をしながら、真剣に学んでいました。



○善八水道【4年生】

4年生は社会科「先人の働き」でも学習している善八水道を見学に行きました。山村町は、丘陵地が多くを占め米作りに適さない土地でありましたが、江戸時代後期、庄屋伊藤善八が、十王山の山腹に高さ1.3m、幅0.75mの横穴を明け、230mの



水路を完成させました。この結果、山村町の米作りが盛んになったという歴史があります。伊藤善八さんの生家、善八水道の碑、善八水道の入口と出口に行ってきました。

伊藤さんの生家では、5代目になる善八さんの子孫の方にもお会いすることができました。善八水道の入口はだんだんわかりにくくなっていますが、子どもたち一人ひとり見て確認することができました。

○昔のくらし【3年生】

3年生は社会科で「今にのこる昔とくらしのうつりかわり」について学んでいます。先日実際に目で確かめようと四日市立博物館と駅前商店街への社会見学を行いました。博物館では、昭和の生活道具や暮らしの移りかわりが展示されていました。子どもたちは、見たこと、感じたことをたくさんしおりに書きこんでいました。八郷小の学校資料室で事前に学習してきたこともあり、興味を持って見学できたようです。



○障害のある方の気持ちになって【2年生】

2年生は学校にある車いすを使って、全員が車いすに「乗る」「押す」を体験しました。

感想で「坂道を下る時に後ろ向きで降りるからこわく感じた」「砂利道を押すときに力がいった」「ゆっくり押してくれたから安心できた」など、不安や安心が次々に出てきました。

話し合う中で、困っている人がいたら声をかけること、点字ブロックやスロープの上に自転車を置かないことなど、自分にできることを考えることができました。



○教えてあげるよ。小学校は楽しいよ【1年生】

4月に入学する保育園・幼稚園児を学校に招き、交流会をしました。1年生は、校歌を歌ったり、合奏したり、ダンスを表現したり、この日に向けて練習してきたことを、はりきって披露しました。そして、園児とびゅんびゅんゴマの回し方を教えてあげたり、いっしょに回したり仲良く活動しました。1年生は、入場の時も静かに待ったり、話を姿勢よくきちんと聞いたりとどの子もお兄さん、お姉さんらしい姿をみせることができました。1年間の成長がとても頼もしいと感じました。



○パラバルーンでさんぽしよう！～ただ今、学習発表会練習中！～【ひまわり】

ひまわりタイムでは、学習発表会参加を予定している子どもたちがパラバルーンを使って活動しています。パラバルーンは、音楽に合わせて大きくふくらませたり、中にはいったり楽しいのですが、難しいところもあります。子どもたちはお家の方や多くの観客の皆さんに頑張っているところを見てもらおうと一生懸命練習をしています。

